



令和5年度全国学力・学習状況調査結果について(4)

全国学力・学習状況調査の結果の分析の4回目（最終）です。前号に続いて児童質問紙調査の「学校での学習について」を紹介します。



学校での学習について

質 問	鹿小	全国
自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた	71.0(77.4)	63.7(65.5)
課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた	79.5(62.7)	78.8(77.4)
各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた	72.1(60.8)	74.4(72.2)
自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた	76.4(75.5)	82.9(79.7)
学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていた	78.5(74.6)	81.8(80.1)
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができた	85.0(74.5)	77.4(78.2)
授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていた	87.1(なし)	81.9(なし)
あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	64.5(52.0)	77.2(73.5)
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	67.7(57.9)	75.7(73.7)
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	70.9(58.8)	83.6(80.0)
国語の学習は好き	66.6 (51.9)	61.5(59.4)
算数の学習は好き	68.8(69.6)	61.4(62.7)

学校での学習については、「主体的・対話的で深い学び」がどれだけ進められ、子どもたちの意識がどう定着してきているのかが問われています。「自分の考えを発表する機会では自分の考えをうまく伝えられるように工夫している」に対して肯定的な回答をしている児童が、全国平均と比べても高くなりました。このことから、学校の取組としても子どもたちの意識としても良い傾向にあるように思います。もちろん、「話し合いを通じて自分の考えが深まった」や「各教科で学んだことを活かすこと」などは、全国平均と比べて低く、学校の取組としては、まだこれからだと言えます。しかし、毎年、これらの質問の肯定的回答のポイントは概ね上昇傾向にあり、取組の成果が少しずつ表れているところだと考えています。



運動会練習が始まりました

先週から運動会の練習が少しずつ始まりました。

先週と今週の月曜の6時間目は、5、6年生の運動会係活動がありました。運動会当日の運営には、進行係、放送係、準備係、出発係などたくさんの方が欠かせませんが、その係活動の役割分担を決めたり準備や練習をしたりするのが係活動の時間です。応援団はこの時間だけでは間に合わないため、9月に入ってからすぐに始めました。中休みや昼休みを使って、応援団担当の教員の指導の下、応援の仕方を考えたりその練習をしたりしています。運動会当日、競技以外に活躍する5、6年の係活動にもご期待ください。



校内授業研修会

9月27日に5年1組で社会科の公開授業がありました。教員の授業研修の1つで、本校の重点課題の1つ「主体的・対話的で深い学び」を目指した取組の一環です。低下する食糧自給率のグラフをもとに、「食料の輸入が増えているのはなぜだろう」という問いを立て、考えました。タブレット端末のシンキングツールを使っ



各自が書き込んだ考えをのぞき込んで、班の意見をまとめる子どもたち。



資料をもとに自分の意見を説明し合う子どもたち。

て個人の考えを書き込んだ後、グループ、学級全体で意見を出し合いました。学習した事項や最近の時事ニュースなどの情報を根拠に、自分の考えを熱心に説明していました。「なぜだろう」「本当だろうか」「もっと深く調べてみたい」「もっと考えたい」そんな子どもたちの思いがたくさん感じられた45分間でした。

9月25日～27日は、将来教員を目指し大学で勉強している「未来の先生」3人が1日ずつ研究授業を行いました。いわば、1ヶ月の教育実習の総まとめです。担当した学級の子どもたちも、目をキラキラさせながら一生懸命取り組んでいました。9月29日を最後に4週間の実習期間が終わりました。大学でさらに勉学に励んで素敵な先生になって戻ってきてほしいものです。

すこやか委員会

9月28日(木)にすこやか委員会が開催されました。すこやか委員会(学校保健食育委員会)は、「学校保健と食育の計画と運営を適切にし、児童の健康・安全の増進をはかることを目的」(規約第2条)とし年1回開催しています。校医先生にも出席して頂いています。

はじめに本校の定期健康診断の結果と考察についてと本校の給食指導・食育の取組について報告を行いました。青少年の体格について「やせ型願望」の低年齢化の傾向が指摘されて久しいですが、本校でも身長割に体重が全国平均を下回っている学年があり、成長期の児童にとって気になる報告のひとつでした。学校薬剤師の先生からのお話の後、本日の講演で、畿央大学の玉井典子先生(健康科学部健康栄養学科)が骨量のピーク(15歳～18歳)について紹介されました。その際、先の健康診断の結果について触れ、スタイルを気にするあまり成長期にバランスよくしっかり食事をし、栄養を摂取しないと将来の健康に影響するので、過度のやせ願望は心配だと話しておられました。

すこやか委員会の詳細な報告は「すこやか委員会だより」でお知らせする予定です。

